

科目名	心理学基礎ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	前期			
担当者名	高田 晃、海野 博、榎本 知子、三島 瑞穂、森本 裕子、小山 典子、榎本 俊哉	関連する資格					
授業概要 新入生の大学での学生生活が充実するようにするための少人数ゼミナールとする。教員と学生、学生同士の交流の中で、学習や生活上の知識やスキルについて学ぶ。							
到達目標 A 1101 1) 大学での学び方を修得する。 2) 自分にとってわかりやすいノートを作成することができる。 3) 図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。 4) 学術的文章を批判的に読むことができる。 5) レポート作成の手順とルールを理解できる。 6) わかりやすいレジュメを作成することができる。 7) レジュメを使って発表することができる。			成績評価方法 課題及びレジュメ作成50%、授業参加度（発言、質疑応答等）10%、プレゼンテーション 40%で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							40
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 大学と大学生活 （担当：全教員） 【予習】キャンパスガイドを読んでおく（30分） 【復習】大学で学ぶ意義を改めて考え、前期の達成目標を立てる（40分程度）		振り返しシート
2) アカデミックスキルズとは （各教員） 【予習】教科書第1章を精読する（60分） 【復習】アカデミックスキルズに対する理解を深め、自己分析を行う（60分）		振り返しシート
3) ノートのとり方（1） （各教員） 【予習】教科書第2章を精読する（60分） 【復習】自分にとって使いやすいノート作りを構想する（60分）		振り返しシート
4) ノートのとり方（2） （各教員） 【予習】ノートをどう活用するかという観点からノート作りを再考する（60分） 【復習】授業でとったノートを見直し、工夫、改善を行う（60分）		グループディスカッション 振り返しシート
5) 情報収集（1）：情報の種類、特徴と利用法 （各教員） 【予習】教科書第3章（1～4節）を精読する（60分） 【復習】データベースを使って、興味を惹かれるテーマの文献を探す（60分）		データベースを使って、文献検索を行う 振り返しシート
6) 情報収集（2）：図書館とデータベースの使い方 （各教員） 【予習】教科書第3章（5～6節）を精読する（60分） 【復習】興味を惹かれるテーマに関する文献を探し、リストを作成する（60分）		データベースを使って、文献検索を行う 振り返しシート
7) クリティカル・リーディング（1）：クリティカル・リーディングを理解する （各教員） 【予習】教科書第4章を精読する（60分） 【復習】授業で提示された課題を行う（40分）		振り返しシート
8) クリティカル・リーディング（2）：クリティカル・リーディングを練習する （各教員） 【予習】新聞記事を批判的に読む（60分） 【復習】授業で提示された課題を行う（60分）		グループディスカッション 振り返しシート
9) レポートの書き方（1） （各教員） 【予習】教科書第5章を読み、スキミングする（60分） 【復習】情報整理の重要性について理解を深める（40分）		振り返しシート
10) レポートの書き方（2） （各教員） 【予習】教科書第8章を精読し、第6章との関連を考える（60分） 【復習】レポート作成の手順、構成、引用のしかたについて理解を深める（60分）		振り返しシート
11) レジュームの作り方 （各教員） 【予習】レジュームとはなにかを調べる（40分） 【復習】どのようなレジュームがわかりやすいかについて、理解を深める（60分）		レジューム作成 振り返しシート
12) レジュームを作成する （各教員） 【予習】レジューム作成に必要な文献を揃え、精読する（60分） 【復習】作成中のレジュームを見直し、必要に応じて加筆・修正する（60分）		レジューム作成 振り返しシート
13) プレゼンテーションのやり方 （各教員） 【予習】教科書第7章を精読する（60分） 【復習】レジューム発表のシミュレーションをする（60分）		振り返しシート
14) 作成したレジュームを発表する （各教員） 【予習】レジューム発表の練習を行う（60分） 【復習】発表および質問応答を振り返り、不足点を調べ理解を深める（60分）		プレゼンテーション 振り返しシート
15) まとめ （各教員） 【予習】第14回目までの内容を復習する（60分） 【復習】アカデミックスキルズについて復習し、自己分析を行う（60分）		振り返しシート
授業外学習		
教科書を精読し、スキミングし、理解を深める。また、授業終わりに提示される課題を行うことで、復習する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 アカデミックスキルズ第3版 大学生のための知的技法入門 佐藤 望（編）2020年、慶應義塾大学出版会		基礎ゼミナール 心理学実験

課題に対するフィードバック

文献リスト及びレジюмеは、添削し、コメントを付記して返却する。
プレゼンテーションについては、優れた点と改善点等を口頭で即時フィードバックする。

備考

科目名	心理学基礎ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	高田 晃、海野 博、梶本 知子、三島 瑞穂、森本 裕子、小山 典子、梶本 俊哉	関連する資格					
授業概要 心理学基礎ゼミナール に引き続き、学生生活が充実するようにするための少人数ゼミナールとする。教員と学生、学生同士の交流の中で、学習や生活上の知識やスキルについて学ぶ。							
到達目標 A 1102 1) 自分の興味の惹かれるテーマに関連する文献や資料を探することができる。 2) 文献や資料を精読し、整理することができる。 3) 指定された様式で予稿集原稿を作成することができる。 4) わかりやすいスライドを作成することができる。 5) スライドを使って発表することができる。 6) 自分の発表に対する質問に、的確に答えることができる。 7) 他者の発表を聞いて、質問することができる。				成績評価方法 予稿集原稿及びスライド作成40%、授業参加度（発言、質疑応答等）10%、プレゼンテーション50%で評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							50
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) テーマの選択1 （各教員） 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す （計90分）		図書館・データベースを使って、テーマを探す
2) テーマの選択2 （各教員） 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す （計90分）		テーマの発表
3) 文献・資料の収集1 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す（60分） 【復習】収集した文献や資料を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
4) 文献・情報の収集2 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す（60分） 【復習】収集した文献や資料を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
5) 文献・資料の収集2 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献、情報を探す（60分） 【復習】収集した文献、情報を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
6) 文献・資料の精査1 （各教員） 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する（60分） 【復習】精査した文献や資料を整理する（60分）		
7) 文献・資料の精査2 （各教員） 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する（60分） 【復習】精査した文献や資料を整理する（60分）		
8) 予稿集原稿（概要）の作成1 （各教員） 【予習】予稿集原稿のレイアウトを考案する（60分） 【復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する（60分）		予稿集原稿の作成
9) 予稿集原稿（概要）の作成2 （各教員） 【予復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する（計120分）		予稿集原稿の作成
10) スライドの作成 （各教員） 【予習】予稿集原稿に基づき、スライドの構成を決める（60分） 【復習】作成したスライドを必要に応じて修正し、完成させる（60分）		スライド作成
11) 発表リハーサル1 （各教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する（60分）		プレゼンテーションの練習
12) 発表リハーサル2 （各教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する（60分）		プレゼンテーションの練習
13) 発表会1 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション
14) 発表会2 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション
15) 発表会3 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション 振り返り
授業外学習		
各回の授業内容に応じて、文献・資料の検索、整理および精査する。そのうえで、予稿集原稿およびスライドを作成し、プレゼンテーションの練習を行う。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 アカデミックスキルズ第3版 大学生のための知的技法入門 佐藤 望（編）2020年、慶應義塾大学出版会 前期と同様		基礎ゼミナール 心理学実験 ・ 卒業研究

課題に対するフィードバック

予稿集原稿及びスライドは添削し、コメントする。
プレゼンテーションについては、優れた点と改善点等を口頭で即時フィードバックする。

備考

科目名	情報処理演習（インターネット）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格		

授業概要

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、現代社会を生きる我々にとって、インターネットを利用した基本的な情報収集や情報発信の知識を必ず習得しておかなければならない。本演習では、インターネットに関する基礎知識、電子メールのアカウント設定・操作方法、WWWを用いた情報検索・情報収集、簡単なWebページの作成方法などを中心に学習する。演習レポートをすることによって授業内容の理解を深めていく。

到達目標

ナンバリング(A1103)

インターネットを効果的に活用し、大学生活や学習、将来に必要な情報を効率的かつ安全に得ることができる。インターネット上の危険性について理解する。知的財産や個人情報の保護について理解する。

成績評価方法

毎回のレポート課題を元に評価をする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○		○			25
宿題、授業外レポート	○	○		○			25
授業態度・授業参加度					○		20
プレゼンテーション	○	○	○	○			
グループワーク	○	○	○				20
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) メールアドレスの設定、パソコン操作の基礎、アンケート。アンケートは授業の進行の参考にするためです。点数は成績に影響しませんが、受けていなければ、その後の授業で不利になることがあります。	演習
2) インターネットの基本的な仕組みを学ぶ。復習では、パソコンに触れて扱いに慣れておきましょう（10分程度）。	演習・小レポート
3) 情報セキュリティ、ウィルスについて学ぶ。復習では、自分が普段使用しているパソコンのセキュリティ対策が十分であるのか確認しておきましょう。個人のパソコンについての相談は応じられません。	演習・小レポート
4) インターネットにおける知的財産権、個人情報の取り扱いについて学ぶ。自分のインターネットの使い方が正しいかどうか、復習では振り返っておきましょう（10分程度）。	演習・小レポート
5) インターネット上の犯罪について事例を通して学ぶ。自分や周りの人が犯罪に巻き込まれないために、正しい知識を身につける。復習では、自分の普段の行動を振り返り、安全を確認しましょう（10分程度）。	演習・小レポート
6) SNSを学習や仕事で活かす方法の他、マナーやリスクについても学ぶ。復習では、実際にSNSを使用したビジネスを探してみましょう（20分程度）。ただし、安全と信用が確認されないものに不用意に近づかないこと。	演習・小レポート
7) インターネットを学習に役立てる。学習に役立つインターネットのサイトを探す。安全で正しい情報を見分け、効果的な学びに活かす。復習では、実際に勉強にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	演習・小レポート
8) 心理学の学習に役立つインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を適切に管理、整理する。復習では、授業で得た情報を振り返っておきましょう（15分程度）。	演習・小レポート
9) 心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習では、他教科の課題や自習にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	演習・小レポート
10) インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	演習・小レポート
11) インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	演習・小レポート
12) インターネットで調べた心理学に役立つサイトについて、どのようなサイトが魅力的なのか、また学びやすいのか等、情報交換と意見交換をする。復習では、良いと思ったサイトを確認しておきましょう（15分程度）。	演習・小レポート
13) インターネットを心理学以外の教養の学習に役立てる。様々な分野が学べるインターネットのサイトを探す。そこで得た情報を効率的に整理する。復習でも、教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	演習・小レポート
14) インターネットを心理学以外の教養のサイトについて、情報交換と意見交換をする。簡単な発表をする。復習でも、他の人が発表した教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	演習・小レポート
15) まとめ	演習・小レポート
授業外学習	
インターネット上の危険性について十分に理解した上で、積極的に活用し、自分の興味・関心を広げていくことが望ましい。知識を定着するためには、ネットサーフィンするだけでなく、そこで得た情報を整理して自分の言葉で置き換えたり、自分の考察を深める必要がある。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラル noa出版 情報処理演習の他の授業と共通です。</p> <p>総務省、経済産業省の提供するサイト その他、授業内で有用なサイトを紹介します</p>	<p>情報処理演習（文書作成） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（EXCEL） 心理学研究法 日本語の科学</p>

課題に対するフィードバック

小レポートの内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業を受講する学生は、入学前までの経験により、インターネットの活用方法に関する習熟度に大きな差があると思います。既に習得済みの内容の授業では、関連する内容の範囲で、より高度な情報をインターネットで探すなどしてください。また、人に教えることは自分の能力の向上にとっても役に立ちますので、演習中は助言や相談をお互いにしましょう。

科目名	情報処理演習（文書作成）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格		

授業概要

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場面が多様化し、ことばはますます重要になってきている。そこで、本授業では一般社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目的とする。口語と文章語など、語彙の感覚を身につけるとともに、上手な文の組み立て方を学習する。また、手紙やさまざまな文章の形式を学び、実践する。

社会人としても大学生としても、パソコンのワープロソフトを用いて文書を作成する能力は重要である。

スマートフォンでも文書を作成するアプリを利用できるが、他のソフトウェアから図やグラフ、写真などを貼り付けることはできず、様式が整わない、大量の文書を作成しづらいといった欠点がある。

大学生としては、レポートの作成、文書の作成、情報の保存といった利用例が挙げられる。まず、大学の授業で出されるレポートはMicrosoft Wordという文書作成ソフトウェアを用いることが多い。様式の整ったレポートを作ることができ、内容の編集や保存、印刷、送付等が容易である。授業の中にはメールでレポートを提出することが求められる場合があり、その場合もWordソフトを使用する必要がある。また、卒業論文は必ずWordソフトを使用する。

社会人としても公式の文書はWordソフトを使用することが多く、会社に勤める際には必須の能力である。

適切な様式で文書を作成する、適切に保存、管理をする、情報を効果的に統合するといった技術は、社会人になる前に習得すべきものである。一般企業はもちろん、心理職でも報告書の作成や論文作成に欠かせない。

ただし、大学入学前に既にこういった技術を習得している学生もいると思われる。そういった学生に対しては、文書作成の技術の習得状況に応じて、レベルの高い課題や資格取得を提案する。

到達目標

ナンバリング(A1104)

Wordソフトウェアを利用した文書作成について、次の技術を習得する。

- ・ローマ字で日本語文章の入力が、60文字/1分 以上の速さでできる。
- ・漢字変換やフォント（文字の形）の選択が問題なくできる。
- ・分かりやすい文書を作ることができる。
- ・他の文書情報、写真、イラスト等の挿入ができる。
- ・表の作成ができる。
- ・レイアウトの変更や調整ができる。
- ・レポートや論文の様式を作ることができる。

成績評価方法

毎回の小レポート課題で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○			○	○		10
授業態度・授業参加度	○		○		○		30
プレゼンテーション	○			○	○		10
グループワーク	○		○		○		10
演習	○				○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション。Wordソフト、メモ帳ソフトを使ってみる。予習は自分のパソコンのスキルを試しておく。復習は、パソコンの基本操作、ローマ字入力等を15分～1時間程度、習熟度に応じて行う。	アンケート
2) Wordソフトの基本的な操作、文字入力に慣れる。予習・復習は習熟度に応じてパソコンの基本操作、文字入力の練習をする。習熟前の場合は1時間程度、習熟後は15分程、慣れることを目指す。	演習・小レポート
3) Wordソフトを用いて自分の考えを書く。予習・復習は習熟度に応じて、15分～30分程度、他教科の課題と兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
4) 基本的なレポートの様式を学ぶ。予習・復習は習熟度に応じてパソコンの基本操作、文字入力の練習を行う。習熟前の場合は30分程度、他教科の課題と兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
5) 表の追加機能や図の挿入機能を使う。予習・復習は、習熟するまでは30分程度、他教科の課題と兼ねて行うとよい。	演習・小レポート
6) フォントやレイアウトを工夫し、レポートの内容を洗練させ、目的や自分の考え、調べた内容を分かりやすく記述する。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、他教科の課題と兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
7) インターネットの授業で調べた内容を適切に引用したレポートの書き方を学ぶ。予習・復習は習熟度に応じて10分程度行う。	演習・小レポート
8) インターネットの授業で調べた内容を適切に引用したレポートの書き方を学ぶ。フォルダによるデータファイルの整理に慣れる。予習・復習は習熟度に応じて行う。	演習・小レポート
9) より見やすい文書を作成するため、インターネットでテーマに関連する図やグラフ、写真を探す。その内容を適切に引用した上で、Wordファイルに貼り付ける。	演習・小レポート
10) 自分の考えや調べた内容を分かりやすく盛り込んだレポートを作成する。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、他教科の課題を兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
11) ビジネス文書の基本ルールを学ぶ。形式、書き方等に慣れる。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、他教科の課題を兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
12) 自分の大学生活の中で、学習内容やサークル活動、ボランティア活動等について報告書を書く。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、課外活動を兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
13) 大学生活でやってみたいことについて、企画書を書く。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、課外活動を兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
14) スキルの確認を行い、苦手なところや分からないところを解消する。	演習・小レポート
15) まとめ	小レポート
授業外学習	
ローマ字入力に慣れると効率的に文書が作成できるので、なるべく早く正確に入力できるようにしましょう。文書作成は他科目のレポートの作成や課外活動の企画、報告、就職後も色々と役立ちます。なるべく普段から使い慣れておきましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：Word 2019 やさしい教科書（一冊に凝縮） 初心者向けのテキストです。既に習熟している人は、相談してください。 授業の際にインターネット上の参考資料を紹介します。</p>	<p>情報処理演習（インターネット） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（EXCEL） 心理学研究法 日本語の科学</p>

課題に対するフィードバック

小レポートの内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業を受講する学生は、入学前までの経験により、文字入力やソフトの活用方法に関する習熟度に大きな差があると思います。既に習得済みの内容の授業では、関連する内容の範囲で、より高度な情報をインターネットで探すなどしてください。また、人に教えることは自分の能力の向上にとっても役に立ちますので、演習中は助言や相談をお互いにしましょう。

科目名	情報処理演習（表計算）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	門間 政亮	関連する資格		

授業概要

大学では、基礎的なデータ集計作業のツールとして、表計算ソフト（Microsoft Excel）をよく使用します。この授業では、表計算のしくみと特徴（計算・関数・グラフ・データベース等）を学びながら、実際にExcelを用いたデータ処理を行うことにより、情報の整理や加工などの基本的な操作方法に関する理解を深めます。

到達目標

ナンバリング（A1105）

- 1) Excelを使用して、表を作成することができる。
- 2) Excelを使用して、計算を行うことができる。
- 3) Excel関数を使用して、データ操作を行うことができる。
- 4) Excelを使用して、作成した表からグラフを作成することができる。
- 5) Excelを使用して、データベースを作成することができる。

成績評価方法

期末定期試験、小テスト、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験（中間・期末）							50
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 【ガイダンス】、【表計算 1】-Excelの基礎、表の作成- 【予習】シラバスを読む（5分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
2) 【表計算 2】-表計算- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
3) 【表計算 3】-表計算まとめ、小テスト- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
4) 【関数 1】-関数の基礎- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
5) 【関数 2】-関数を使用したデータ操作- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
6) 【関数 3】-関数まとめ、小テスト- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
7) 【グラフ 1】-グラフ作成の基礎- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
8) 【グラフ 2】-さまざまなグラフの作成- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
9) 【グラフ 3】-グラフ作成まとめ、小テスト- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
10) 【データベース 1】-データベース作成の基礎- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
11) 【データベース 2】-集計とデータベース作成- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
12) 【データベース 3】-データベース作成まとめ、小テスト- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
13) 【総合演習 1】-これまでのおさらい- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
14) 【総合演習 2】-複合的な資料の作成- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
15) 【総合演習 3】-総合演習まとめ、小テスト- 【予習】操作の確認（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
授業外学習	
Excelは社会に出ても頻りに使用するソフトです。この授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習しておきましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice2016 対応（noa出版）	情報処理演習（インターネット）、情報処理演習（文書作成） 、情報処理演習（プレゼンテーション）

課題に対するフィードバック

授業内で解説を行います。

備考

- ・この授業の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。必ず毎回出席するようにしてください。
- ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	情報処理演習（プレゼンテーション）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	門間 政亮		関連する資格				
授業概要 魅力的なプレゼンテーション資料を作成し、発表（プレゼンテーション）を行う能力は、学習の上でも仕事の上でも重要なスキルの一つです。本授業では、プレゼンテーションの理解を深めると共に、プレゼンテーション資料作成の主要なツールであるMicrosoft Power Pointの基本操作方法について学習します。実際にプレゼンテーション資料を作成しながら、プレゼンテーションのテクニックを学び、作成した資料に基づいて発表を行います。							
到達目標 ナンバリング（A1106） 1) Power Pointを使用して、基本的なプレゼンテーション資料を作成することができる。 2) Power Pointを使用して、アニメーション操作を行うことができる。 3) プレゼンテーションのマナーを理解し、実行することができる。 4) Power Pointを使用して、プレゼンテーションを行うことができる。			成績評価方法 期末定期試験、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験（中間・期末）							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							40
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 【ガイダンス】、【資料の作成 1】-プレゼンテーションの基礎とマナー- 【予習】シラバスを読む、教科書を読む（15分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
2) 【資料の作成 2】-スライド操作- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
3) 【資料の作成 3】-アニメーション- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
4) 【プレゼンテーション 1】-プレゼンテーション資料の作成- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】内容の検討（20分）	個人ワーク
5) 【プレゼンテーション 2】-プレゼンテーション資料の作成、発表練習- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（20分）	個人ワーク
6) 【プレゼンテーション 3】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表練習、自己評価（20分）	プレゼンテーション
7) 【プレゼンテーション 4】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	プレゼンテーション
8) 【プレゼンテーション 1】-プレゼンテーション資料の作成- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】内容の検討（20分）	個人ワーク
9) 【プレゼンテーション 2】-プレゼンテーション資料の作成、発表練習- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（20分）	個人ワーク
10) 【プレゼンテーション 3】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表練習、自己評価（20分）	プレゼンテーション
11) 【プレゼンテーション 4】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	プレゼンテーション
12) 【プレゼンテーション 1】-プレゼンテーション資料の作成- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】内容の検討（20分）	個人ワーク
13) 【プレゼンテーション 2】-プレゼンテーション資料の作成、発表練習- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（20分）	個人ワーク
14) 【プレゼンテーション 3】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表練習、自己評価（20分）	プレゼンテーション
15) 【プレゼンテーション 4】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>社会に出れば、プレゼンテーションの機会は多々訪れることでしょう。この授業で覚えたPower Pointの操作を授業外でも繰り返し練習しておくと共に、どのように工夫すれば伝えたい情報がより相手に伝わるのかを、常に意識して生活しましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice2016対応（noa出版）	情報処理演習（インターネット）、情報処理演習（文書作成）、情報処理演習（表計算）

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションの内容について、講評を行います。

備考

- ・この授業の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。必ず毎回出席するようにしてください。
- ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	日本語（留学生向け）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	前期			
担当者名	小寺 紀美代		関連する資格				
授業概要 文章表現ルールを整理していくことで、既習文法や文型を正確に使えるようにしていく。自分らしい言葉や表現を探りながら、まとまった文章が書けるようにしていく。課題に関して意見や考えを発表し、質疑にも的確な応答ができるようにしていく。							
到達目標 ナンバリング(A1107) ・既習文法が文章の中で正確に使い、適切な日本語表現ができる。 ・語彙を増やし、的確に使える。			成績評価方法 定期試験、語彙確認テスト、課題等				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、プレースメントテスト	
2) 文型練習 自己紹介文作成・発表 【自習】語彙拡大1章	発表
3) 文章表現のルール文法1課 【自習】語彙拡大1章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
4) 文章表現のルール文法1課 【自習】語彙拡大2章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	語彙1章テスト
5) 文章表現のルール文法2課 【自習】語彙拡大2章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
6) 文章表現のルール文法2課、課題文作成 【自習】語彙拡大3章 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	語彙2章テスト
7) 文章表現のルール文法3課 【自習】語彙拡大3章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表
8) 文章表現のルール文法3課 【自習】語彙拡大4章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	語彙3章テスト
9) 文章表現のルール文法3課、課題文作成 【自習】語彙拡大4章 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	グループワーク
10) 文章表現のルール文法4課 【自習】語彙拡大5章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	語彙4章テスト
11) 文章表現のルール文法4課 【自習】語彙拡大5章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表
12) 文章表現のルール文法5課 【自習】語彙拡大6章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	語彙5章テスト
13) 文章表現のルール文法5課、課題文作成 【自習】語彙拡大6章 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	グループワーク
14) 文章表現のルール文体、課題文作成 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	語彙6章テスト
15) 発表、質疑応答、総括	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>自習用の語彙課題は計画的にきちんと覚えること。 授業で使う教材以外に自主的にどんどん学習を進めること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題をを配布	日本語、 、

課題に対するフィードバック

練習問題、短文作成等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	日本語（留学生向け）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	後期			
担当者名	小寺 紀美代		関連する資格				
授業概要 文法学習を中心に、実践的な練習問題に取り組む。類似表現や使い方を間違えやすい表現を整理することで、正確な日本語が使えるように練習していく。スピーチやディスカッション、作文に取り組み、日本語運用能力を高めていく。							
到達目標 ナンバリング(A1108) ・類似表現の使い分けができ、より豊かな日本語表現ができる。 ・語彙を増やし、的確に使える。 ・自分の考えをまとめて、簡潔なスピーチができる。			成績評価方法 定期試験、語彙確認テスト、課題等				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、文法強化・文型比較 【自習】語彙拡大7章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
2) 文法強化・文型比較 【自習】語彙拡大7章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
3) 文法強化・文型比較 【自習】語彙拡大8章 【復習】資料再読、練習問題（60分）	語彙7章テスト
4) 聴解・読解・ディスカッション 【自習】語彙拡大8章 【復習】資料再読、課題文作成（60分）	ディスカッション
5) 文法強化・文型比較 【自習】語彙拡大1～8章復習 【復習】資料再読、練習問題（60分）	語彙8章テスト
6) 文法強化・文型比較 【自習】語彙拡大1～8章復習 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
7) 文法強化・文型比較 【自習】語彙拡大1～8章復習 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
8) 聴解・読解・ディスカッション 【復習】資料再読、課題文作成（60分）	語彙復習テスト ディスカッション
9) 文法強化・文型比較・スピーチの組み立て方 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
10) 文法強化・文型比較・1分間スピーチ 【予習】スピーチ準備 【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション
11) 文法強化・文型比較・1分間スピーチ 【予習】スピーチ準備 【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション
12) 聴解・読解・ディスカッション 【復習】資料再読、課題文作成（60分）	ディスカッション
13) 文法強化・文型比較・1分間スピーチ 【予習】スピーチ準備 【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション
14) 文法強化・文型比較・1分間スピーチ 【予習】スピーチ準備 【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション
15) 聴解・読解・ディスカッション・総括	ディスカッション
授業外学習	
<p>自習用の語彙課題は計画的にきちんと覚えること。 授業で使う教材以外にも自主的にどんどん学習を進めること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜資料や練習問題をを配布	日本語 、 、

課題に対するフィードバック

練習問題、スピーチ等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	英語						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	前期			
担当者名	内海 俊祐		関連する資格				
授業概要 社会人として必要とされる程度の英語力を身につけるための基礎として、日常生活でよく使う単語を各授業で取り上げ、コミュニケーションへと繋げていく。また、必要に応じて文法の指導や英文のリーディング及びライティングの指導を行う。							
到達目標 A1109 1 英語の基本的文法事項を理解することが出来る。 2 英語で基本的なコミュニケーションを図ることが出来る。			成績評価方法 定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前期間中に英語で口頭発表をしてもらう。
2) リスニング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 会話文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 説明文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 発表とディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) リーディング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 間違い指摘問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Seize the core of the TOEIC TEST』 安丸雅子他 金星堂	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

英文を速読するための知識・技術の向上を図る。一定量の英文の内容に関してポイントを解説した後、出来るだけ早くパラグラフ・リーディングを行ってゆく。毎回演習問題を宿題として課す。訳読も行うが、様々な種類の英語の文章を出来るだけ効率的に読むための訓練を行うことをあくまでもこの科目の主眼とする。

到達目標

A1110

- 1 英語の文法事項を深く理解することが出来る。
- 2 英語で社会人としてのコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期間中にレポートを提出してもらおう。
2) リスニング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 会話文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと	think-pair-share
6) 説明文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) リーディング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 間違い指摘問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Lighting Up the TOEIC TEST』植木美千子他著 金星堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。	

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	瀬崎 譲廣	関連する資格		

授業概要

「人は一人では生きていけない」 このテーマは、文学作品や音楽などあらゆる表現媒体において古くから扱われてきたが、それは人文科学・社会科学と分類される諸学問の究極のテーマでもある。社会学という学問は、社会的な生物である人間の「社会的な」という部分にフォーカスを合わせ、人間（たち）を観察し、分析し、人間社会における法則性を発見しようという学問と言える。この授業では、社会学という学問が生まれるにいたった背景から話をはじめ、学生皆さんの多くが共通に経験した、またこれから経験するであろう社会について概説する。また、現代社会の問題について、社会学の観点からの指摘を紹介する。これによって、「社会学的なものの方」を理解することを授業の目的とした。

到達目標

ナンバリング(A1201)

社会学についての基本的な知識や、考え方の特徴を理解する
社会学の観点から、現代社会が抱える諸課題について理解する

成績評価方法

講義中に課す宿題や小レポート等、および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴	グループワーク
2) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）	
3) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）	
4) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
5) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
6) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
7) 社会学の調査方法 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
8) 社会化の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
9) 学校の社会学 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
10) 産業社会と組織の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
11) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
12) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
13) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	
14) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
15) 授業全体のまとめ	
授業外学習	
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業中に配布する資料を用いて授業を進める。 教科書は指定しない。 参考書は授業中に適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。

備考

授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	藪本 知二	関連する資格		

授業概要

社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などの基礎知識について概説する。
 法を初めて学ぶ者のために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）から実例を挙げながら、法の基本的な原理・原則および構造ならびに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を概説する。

到達目標

ナンバリング(A1202)

法の主要な領域の基礎知識を理解し、説明することができる。
 法の基本的な原理・原則および構造ならびに法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を理解し、説明することができる。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							67	
小テスト、授業内レポート							28	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							5	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 法学の学習方法および六法の使い方を説明する。法令の構成等について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に使ってみる。
2) 近代市民社会の法の原理および構造ならびに近代憲法の意義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3) 犯罪と法(1) 刑の種類・内容、刑の適用および刑の執行等について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4) 犯罪と法(2) 犯罪の成立要件について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5) 犯罪と法(3) 罪刑法定主義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6) 犯罪と法(4) 刑事手続の概要について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7) 物の人への帰属に関する法(1) 法律行為について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8) 物の人への帰属に関する法(2) 契約自由の原則とその限界について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9) 物の人への帰属に関する法(3) 契約自由の原則とその限界について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10) 物の人への帰属に関する法(4) 時効制度および除斥期間について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11) 人に関する法と物に関する法について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12) 司法制度 裁判制度および裁判外紛争解決制度（ADR）について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13) 制定法の種類 各種制定法の意義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14) 制定法の効力 種制定法間の効力関係および制定法の適用範囲について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15) 制定法の解釈 制定法の解釈方法論および解釈技術について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『ポケット六法令和2年版』（有斐閣、2019年）。 テキストは用いないが、六法は学習に必要。受講にあたっては、『ポケット六法令和2年版』（有斐閣、2019年）を持参すること（第1回目の授業から使用する。）。	

課題に対するフィードバック

小テストについて実施当日または次回の授業で解説する。

備考

科目名	経済学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	西山 慶司	関連する資格		

授業概要

本授業は、新聞・テレビ・インターネット等のメディアで報道される社会の事象から出発して、広い意味での「経済」（政府、官僚、民間など）が私たちの生活に与える影響について学びます。

なお、本授業は公共部門で勤務経験がある教員が、「経済」の基本的な知識や実際の課題などについて講義します。

到達目標

ナンバリング(A1203)

「経済」に関する基本的な特徴・考え方を習得し、社会の現状や課題について理解を深めることができる

授業中にDVDを鑑賞し、その内容についての課題レポートを授業時間中に作成することができる

自らが積極的に社会の動向について関心をもつことができる（時事に強くなる、ニュースの深層がわかる）

成績評価方法

授業への貢献度（出席の状況、積極的な意見発表、他の受講者からの意見傾聴）、課題レポートの内容などから、総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○	○				0.35
宿題、授業外レポート	○			○			0.35
授業態度・授業参加度			○		○		0.3
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、講義ガイダンス 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
2) サunkコスト、機会費用（1） 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
3) 行政改革 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
4) 機会費用（2）、比較優位 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
5) NPM 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
6) インセンティブ、モラルハザード（1） 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
7) 民間委託 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
8) モラルハザード（2）、逆選択 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
9) 官民協働 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
10) 価格差別、裁定（1） 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
11) 独立行政法人 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
12) 裁定（2）、囚人のジレンマ 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
13) 民営化 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
14) 共有地の悲劇、ネットワーク外部性（1） 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
15) ネットワーク外部性（2）、講義全体のまとめ 【予習】持ち帰り試験方式のレポートを作成する（120分）	内容についての課題レポートを作成
授業外学習	
期末に持ち帰り試験方式のレポート提出を予定しています。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
吉本佳生監修、NHK出版社が楽しい経済学DVDブック、日経BP社、2009年。その他、必要なものは授業内で適宜指示します。	

課題に対するフィードバック

授業中の課題レポートの解答例は、次回授業時に提示します。

備考

進行とテーマは、経済や社会の動向などに応じて、弾力的に運用することがあります。なお、本授業は原則、隔週で2コマ開講予定につき、各日の前半は講義とディスカッション、後半はDVD鑑賞と課題レポート作成で構成されています。

科目名	地域文化論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	前期			
担当者名	内田 鉄平		関連する資格				
授業概要 総論では「文化とは何か」について述べた上で、比較文化論的な視点から日本文化の大づかみな特徴を述べる。 各論では、山口県及び宇部市の文化をはじめとする日本の文化のさまざまな側面をとりあげて、文化との関連で日本社会の構造的な特性を理解してもらうようにする。							
到達目標 ナンバリング(A1901) 日本独自の文化について理解する。山口県及び宇部市の地域文化について理解する。			成績評価方法 期末試験と講義の参加意欲で評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 地域文化論（宇部市を中心に）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
2) 食文化 和食の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
3) 出帆文化の隆盛 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
4) 産業と文化 地域産業の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
5) 居住空間-竪穴住居から文化住宅まで 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
6) 文化を伝える-山口県の方言 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
7) 祭礼と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
8) 北浦の捕鯨と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
9) 芸能文化と山口県 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
10) 地域産業と文化の伝播 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
11) 山口大神宮と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
12) 彫刻のまち宇部の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
13) 宇部市の文化財 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
14) 宇部村から宇部市へ-石炭産業と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
15) 総論（講義全体を通して学生の理解度を考慮して適宜に補足説明を行う）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	
授業外学習	
講義で適宜に参考文献を紹介しますので、余暇の時間に余裕があれば読んでもらう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリントを配布します。	

課題に対するフィードバック

希望者がいれば、期末試験の成績を開示します。

備考

科目名	ジェンダー・人権論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	前期			
担当者名	藪本 知二		関連する資格				
授業概要 判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）について修得する。 また、子どもの権利やジェンダーに関する諸問題についても考える。							
到達目標 ナンバリング(A1204) ○立憲主義の意義を理解する。 ○主要な人権の内容を理解する。 ○統治機構の概要を理解する。 子どもの権利およびジェンダーの観点から人権および統治機構を理解する。			成績評価方法 期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							65
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 憲法と国家<国家の三要素> 【予習】国家の3要素とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 立憲主義の意義 <憲法とは何か> 【予習】憲法という言葉を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 立憲主義の意義 <人権の種類と内容> 【予習】人権の種類とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 法の下での平等 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 法の下での平等 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
8) 精神的自由権 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
9) 精神的自由権 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 社会権 【予習】テキストTheme11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 裁判制度 【予習】テキストTheme19を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 裁判制度 【予習】テキストTheme19（特に裁判員裁判）を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
14) 参政権と国会・内閣 【予習】テキストTheme16、17および18を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
15) 憲法保障<違憲審査制> 【予習】テキストTheme20を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門[第5版]』（有斐閣、2017年）。 その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。	

課題に対するフィードバック

小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。

備考

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	祐村 稔子	関連する資格		

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになってきている。本講義では、高校までの生物をベースに、生体の持つ機能や遺伝の仕組み、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について学ぶ。

到達目標

ナンバリング(A1205)

1. 生命のなりたちを分子のレベルで理解する。
2. 人体のなりたちと統合のしくみを理解する。
3. 生命をめぐる現代の課題について正しく理解し各自の考えを述べることができる。

成績評価方法

レポート、最終試験により総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 生命とその起源：あなたもムシも大腸菌も生きている 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
2) 生命の最小単位「細胞」：細胞の構造と機能 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
3) 生命を演ずる分子たち1：生体内で働く分子たち 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
4) 生命を演ずる分子たち2：脂質と生体膜 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
5) 生命を演ずる分子たち3：タンパク質は働き者 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
6) 生命を演ずる分子たち4：生命の設計図：遺伝子とその働き 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
7) 病気との闘い1：DNAの傷害と修復 がんの生物学 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
8) 遺伝子組換え技術とその応用 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
9) 病気との闘い2：ヒトの遺伝と遺伝病 先端医療と生命倫理 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
10) 生命活動の基礎：エネルギーの産生と物質代謝 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
11) 生命は動く、細胞は動く：細胞骨格と細胞運動 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
12) 免疫のしくみ 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
13) 神経と脳の働き 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
14) 恒常性：ホルモンの働き 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
15) 老化と寿命 【復習】プリントとテキスト 見直し(15分)	小レポート
授業外学習	
毎回、授業に関連した参考資料を配布します。これを読んだの考察や感想、あるいは簡単な課題に関する小レポートを宿題とします。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：伊藤明夫著「いのちの科学」(培風館)	

課題に対するフィードバック

小レポートへのコメント集を配布

備考

科目名	健康科学（食と健康）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	前期			
担当者名	上田 真寿美、田坂 克子		関連する資格				
授業概要 本講義では、健康の定義を明らかにし、生涯を通して健康なライフスタイルを確立するための方法を考えさせる。本講義では、食および運動と生活習慣病との関連を中心に取り上げる。食と健康の関係を、栄養学および食品学の観点から考察して食生活の重要性を理解させる。また、健康の維持・増進における運動の重要性を運動生理学の観点から概説し、運動と栄養との係わりおよび有効な運動の実践方法を理解させる。 (上田 真寿美/8回) 現代生活における健康と運動の重要性について概説し、各ライフステージにおける健康維持のための運動やスポーツに触れる。 (田坂 克子/7回) 健康づくりと食生活について概説し、生活習慣病予防に重要な食生活改善の取り組みや食の安全性について触れる。							
到達目標 ナンバリング(A1206) 具体的に以下の観点から到達目標を設定している。 【知識・理解の観点】 1. 現代社会における健康問題について説明できる。 2. 現代生活における健康と栄養・運動の意味について説明できる。 3. 生活習慣病の予防や医療費の増大への栄養・運動の寄与について説明できる。 4. 栄養・運動と心身の関連について説明できる。 5. 健康な生活を送るための具体的な栄養・運動の実践方法について説明できる。 【思考・判断の観点】 1. 授業で取り上げた各領域について、自分の意見を論理的に述べるができる。 【関心・意欲・態度の観点】 1. 健康、栄養・運動への関心を広げ、問題意識を高めて、自らその解決方法を探ろうとすることができる。 2. 日常生活の中で健康問題や栄養・運動について主体的に考えることができる。 【技能・表現の観点】 1. 現在および将来にわたり、健康保持増進のための方策を立て実践することができる。			成績評価方法 授業態度、出席日数およびレポートにより総合的に評価する。 具体的には 1. 授業内レポートを数回行う。 2. 関心のある健康問題や運動に関するレポートを宿題をして課す。 3. 最終試験を実施する。 以上から評価し、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、我々を取り巻く健康問題（担当：上田真寿美） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
2) 現代生活における健康と運動 - これからの健康づくりと運動（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
3) 現代生活における健康と運動 - 疾病予防のための運動とは（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
4) 現代生活における健康と運動 - 運動不足と健康障害（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	グループワーク
5) 運動と身体健康 - ヒトの発育・発達 ヒトにおける形態や機能の変化（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
6) 運動と身体健康 - 乳児～青少年の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
7) 運動と身体健康 - 成人～高齢者の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
8) 運動と身体健康 - 女性の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 中間総括（特に運動と健康領域） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	小テスト
9) 健康づくりと食生活（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
10) 食生活の変遷と栄養の問題点（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
11) 生活習慣病の予防（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	グループワーク
12) 食生活改善への施策(1)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
13) 食生活改善への施策(2)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
14) 食の安全性と表示（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	小テスト
15) 総括（担当：田坂克子） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
授業外学習	
当該授業の前週に、次週の授業の資料配布と参考文献を提示する。それについて予習を行い授業に参加すること。授業内容について毎回まとめておく。それらを参考に課題レポート（授業内・宿題）を作成し提出する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用せず、適宜、書き込み式資料を毎回配布する。	

課題に対するフィードバック

提出された課題レポートについては翌週コメントを付けて返す。

備考

科目名	人体の構造と機能及び疾病			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	福田 信二	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

人体の構造や機能および器官の生理機能について概説する。さらにさまざまな疾病について概観したうえで、健康の維持・増進のための、保健・医療・福祉の連携および医事法制に関する必要性と重要性についても概説する。
 具体的には授業計画に記載しているが、生活習慣病をはじめとする内科疾患、骨折をはじめとする整形外科疾患、うつ病などの精神疾患、脳血管障害などの神経疾患、がん、感染症、更に難病疾患について解説する。さらに、周産期医療、小児の成長発達とそれに伴う疾患、加齢に伴う疾患についても解説する。これらの疾患を理解するには人体の構造と機能の理解が必要であり、これらについても解説する。心理学は生物学と離れて存在するものではなく、本講義が生物学的、医学的に、人について深い理解をもたらす一助になることを願っている。

到達目標

ナンバリング(A1207a)

健康・疾病について理解し、がん、難病障害者を理解し、心理的支援について理解する。

成績評価方法

試験などによる総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 人体の構造と機能 【予習】テキスト1章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	人体の構造（血管系、骨格系、筋肉系）を図示する
2) 心に関わる統合器官系 【予習】テキスト2章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
3) 小児の成長発達と疾患 【予習】テキスト3章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
4) 加齢と疾患 【予習】テキスト4章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
5) 内科疾患の理解 【予習】テキスト5章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
6) 整形外科疾患の理解 【予習】テキスト6章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
7) 精神疾患の理解 【予習】テキスト7章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
8) 神経疾患の理解 【予習】テキスト8章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
9) 難病の理解 【予習】テキスト9章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
10) がんの理解 【予習】テキスト10章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
11) 周産期医療の理解 【予習】テキスト11章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
12) 感染症の理解と対策 【予習】テキスト12章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
13) リハビリテーションの理解 【予習】テキスト13章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
14) ICFの理解 【予習】テキスト14章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
15) 健康と健康増進の理解 【予習】テキスト14章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
医歯薬出版株式会社 公認心理師カリキュラム準拠 人体の構造と機能及び疾病 武田勝彦、岩田 淳、小林 靖編	

課題に対するフィードバック

前回の授業のフィードバックを授業の最初に行う。小レポートは、翌週の授業の中でコメントする。

備考

科目名	地球の環境			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要ことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

到達目標

A1208
自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

質問・感想カード、レポート、グループ討議の態度と定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	
2) 「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	
3) 「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	
4) 「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	
5) 「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	
6) 「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消滅と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	
7) 「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	
8) 「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	
9) 「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	
10) 「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	
11) 「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	
12) 要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	グループ討議と要点の確認
13) 「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	レポート提出
14) 「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	
15) 「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しない。資料はウェブ上よりダウンロードしてください。	自然災害、ビジネス情報

課題に対するフィードバック

毎回の授業後に提出する感想・質問カードについて、次回の授業の始めに解答などをする。レポートは提出後、誤りなどをチェックして返却する。総評をする。

備考

科目名	統計学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「心理学の基礎的思考方法」を学ぶための授業です。

授業ではまず、統計学の歴史について深く学び、統計学や確率の歩んだ道を振り返ってみる。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。

統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問です。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに大いに役立たせてください。

到達目標

A1401b

統計値の科学的意味を的確につかむ。
グループ討議を通じて、コミュニケーション能力を高める。

成績評価方法

毎回配布する質問・感想カードの内容、レポート、グループ討議の態度、定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 統計学の歴史 その1 予習；テキストの全体を概観しておく（30分）。復習；歴史の部分を読み込む（30分）。	
2) 統計学の歴史 その2 予習；歴史の部分概観する（30分）。復習；歴史の全体を復習する（30分）。	
3) 統計学の考え方 その1 予習；考え方の全体を概観する（30分）。復習；考え方の その1を復習する（30分）。	
4) 統計学の考え方 その2 予習；その2を概観する（30分）。復習；考え方の全体を復習する（30分）。	
5) データ科学的な見方 予習；データの科学的な見方の全体を概観する（30分）。復習；データの科学的な見方の全体を復習する（30分）。	
6) ここまでの要点を整理 予習；最初から第5回目までの全体を概観する（30分）。復習；グループ討議で生じた疑問点を解決する（30分）。	グループ討議と要点の確認。
7) 具体例で統計学を学ぶ その1 予習；具体的事例の部分概観する（30分）。復習；その1を復習する（30分）。	
8) 具体例で統計学を学ぶ その2 予習；具体的事例その2の部分概観する（30分）。復習；その2を復習する（30分）。	
9) 具体例で統計学を学ぶ その3 予習；具体的事例その3の部分概観する（30分）。復習；その3を復習する（30分）。	
10) 区間推定と検定 その1 予習；区間推定と検定の全体を概観する（30分）。復習；その1を復習する（30分）。	
11) 区間推定と検定 その2 予習；区間推定と検定の全体を概観する（30分）。復習；その2を復習する（30分）。	
12) ここまでの要点を整理 予習；最初から第11回目までの全体を概観する（30分）。復習；グループ討議で生じたい疑問点を解決する（30分）。レポートを作成する（1時間）。	グループ討議と要点の確認。レポートの書き方の確認。
13) t 検定と分散分析 予習；t 検定と分散分析の全体を概観する（30分）。復習；t 検定と分散分析を復習する（30分）。	レポート提出
14) 相関と予測 予習；相関と予測の全体を概観する（30分）。復習；相関と予測の部分復習する（30分）。	
15) まとめと要点整理（グループ討議） 予習；テキスト全体をもう一度、概観する（30分）。復習；大事な部分をもう一度、確認する（1時間）。	グループ討議と要点の確認
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読。講義資料を復習。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はウェブ上よりダウンロードしてください。	心理統計学 情報処理演習、

課題に対するフィードバック

提出されたレポートは誤りをチェックして返却するので、必ず誤りを訂正すること。

備考

科目名	脳科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	左利 厚生	関連する資格		

授業概要

人間理解の可能性と脳科学が果たす役割について学び、ヒトの神経系（脳）の構造と脳の機能局在について理解を深めることを目標とする。歴史的経緯を踏まえつつ臨床症例や研究知見を神経学的手法（脳波・fMRI・TMS・PETなど）とともに紹介する。

到達目標

ナンバリング(A1209)

頭脳は全身を統括する中枢的統括器官であることを解剖学及び生理学的事実から理解し、人間の頭脳の特殊な働きである認識にまで発展させる。

成績評価方法

定期試験、レポート

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 人間の頭脳の働きの学問的解明を目的とする脳科学の紹介 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
2) 脳と心の研究の歴史 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
3) 中枢神経系の仕組み 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
4) 大脳の構造 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
5) 大脳の機能 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
6) 大脳基底核と大脳辺縁系 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
7) 小脳及び脳幹 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
8) 外界を認識する機能 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
9) 視床下部と生体の恒常性 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
10) 自律神経系と生体の恒常性 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
11) 運動と脳 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
12) 高次脳機能 【予習】配布した資料及び「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
13) 脳の循環・代謝 【予習】配布した資料を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
14) 画像診断と脳機能 【予習】配布した資料を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内レポート
15) 脳と心の研究 【予習】配布した資料を熟読し、専門用語を調べておく。(30分) 【復習】授業中の専門用語を正しく理解する(30分)	授業内レポート
授業外学習	
配布した資料の内容を理解し、解からない専門用語は調べる。 得た知識からその内容を発展させる努力をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
随時プリント資料を配布する。 参考文献 『もっとよくわかる 脳神経科学』工藤佳久、2013年、羊土社、4,200円 『脳と心のしくみ』池谷裕二、新星出版社、2116年、1500円	

課題に対するフィードバック

授業内容に関する意見、質問は記名の上メールアドレスに投函できる。その内容については次の授業で説明する。

備考

科目名	文学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	加藤 禎行	関連する資格		

授業概要

日本近代文学の中からいくつか作品を取り上げ、その魅力を味わうとともに、文学作品としての価値について考える。また、文学作品を通じて、人の人生や生き方、考え方などを学び、豊かな感性を磨く。

到達目標

ナンバリング(A1210)

学生は、該当年度の担当教員が選択した任意の作家および作品について適切に理解する。また該当科目が心理学科の基礎教養科目に設定されていることに鑑み、人文科学や文学への持続的関心を維持することを心掛ける。

成績評価方法

授業日数の2/3以上の出席が単位認定の前提となり、中間レポート(50%)、学期末におけるレポート(50%)の結果で 秀 優 良 可 と評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							100
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第一回 オリエンテーション 教員は、夏目漱石年譜等の資料を印刷配布し、作家紹介と授業全体の見通しを説明し、また次回以降の講義で扱う時代状況・文学状況について予備的な講義を行う。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
2) 第二回 夏目漱石「草枕」とその周辺 教員は、「草枕」の物語概要を説明し、漱石の新進作家としての位相を確認する。また漱石の評論「写生文」（1907 明治40年）に言及し、「草枕」の実験性を講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
3) 第三回 夏目漱石「野分」とその周辺 教員は、「野分」の物語概要を説明し、金銭と文学者・現代青年の墮落といった主題に触れ、長篇小説を指向し始めている「野分」の構成についても講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
4) 第四回 夏目漱石「虞美人草」を読む（一） 教員は、「虞美人草」の物語進行についての説明を行い、同時に、漱石の朝日新聞社入社後の経緯、漱石が入社第一作で選択した小説の旧時代性について講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
5) 第五回 夏目漱石「虞美人草」を読む（二） 教員は、「虞美人草」の物語進行についての説明を行い、同時に漱石書簡等を参照しつつ、漱石が腹案として抱いた小説の主題や、「虞美人草」の文体の問題点を講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
6) 第六回 夏目漱石「虞美人草」を読む（三） 教員は、「虞美人草」の物語進行についての説明を行い、「虞美人草」が直面した矛盾、作家の思惑と同時代読者の読み方との微妙なズレの問題について講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
7) 第七回 進度調整（一） 教員は、これまでの講義において、進度の遅れが発生していた場合には、ここで回復する。また遅れがなければレポート作成等学習についての助言を行う。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
8) 第八回 夏目漱石「三四郎」を読む（一） 教員は、「三四郎」の物語進行についての説明を行い、同時に教養小説・恋愛小説・絵画小説・都市小説と実に多様な評価を受けてきたこの小説の問題点について講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
9) 第九回 夏目漱石「三四郎」を読む（二） 教員は、「三四郎」の物語進行についての説明を行い、同時に広田先生や三四郎など複数の視点を切り換えることで獲得される、安定的な小説叙述の技法について講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
10) 第十回 夏目漱石「三四郎」を読む（三） 教員は、「三四郎」の物語進行についての説明を行い、同時に、物語が中断されたかたちで読者を置き去りにする、「三四郎」の結末の中途半端さについて講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
11) 第十一回 進度調整（二） 教員は、これまでの講義において、進度の遅れが発生していた場合には、ここで回復する。また遅れがなければレポート作成等学習についての助言を行う。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
12) 第十二回 夏目漱石「それから」を読む（一） 教員は、「それから」の物語進行についての説明を行い、同時に漱石の構想が窺える「それから」連載予告を紹介し、また「高等遊民」の概念について講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
13) 第十三回 夏目漱石「それから」を読む（二） 教員は、「それから」の物語進行についての説明を行い、同時に「それから」が森田草平「煤煙」（1909 明治42年）を意識して書かれている点などに触れ、講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
14) 第十四回 夏目漱石「それから」を読む（三） 教員は、「それから」の物語進行についての説明を行い、同時に「それから」という小説の結末が、あらかじめ構想された悲劇であることを確認しつつ、講義する。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
15) 第十五回 進度調整（三） 教員は、これまでの講義において、進度の遅れが発生していた場合には、ここで回復する。また遅れがなければレポート作成等学習についての助言を行う。	講義科目であることもあり、アクティブラーニングは特に想定していない。
授業外学習	
各自、文庫本等で夏目漱石「虞美人草」「三四郎」「それから」を入手して読みすすめていくことが望ましい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
夏目漱石「虞美人草」「三四郎」「それから」（新潮文庫）	

課題に対するフィードバック

適宜、学生の求めに応じることとする。

備考

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信	関連する資格		

授業概要

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下の二点を支軸にして講義を展開する。

- (1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。
- (2) ものごとを広く（多面的に）深く（根源的に）考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

ナンバリング(A1211)

- (1) 哲学の根本問題について考えてみる。
- (2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト(pp. 1-2)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
2) 人間と哲学(1)： 知・行・信 【予習】テキスト(p. 3)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
3) 人間と哲学(2)： 知・行・信と人間 【予習】テキスト(p. 4)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
4) 理性の運命(1)： 自覚 【予習】テキスト(pp. 5-6)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
5) 理性の運命(2)： 自覚と形而上学 【予習】テキスト(p. 7)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
6) 哲学の方法(1)： 超越論的論理学 【予習】テキスト(p. 8)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
7) 哲学の方法(2)： 超越論的演繹 【予習】テキスト(pp. 9-10)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
8) 哲学の方法(3)： コペルニクスの転回 【予習】テキスト(p. 11)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
9) 哲学の対象(1)： 現象と物自体 【予習】テキスト(p. 12)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
10) 哲学の対象(2)： 自由の可能性 【予習】テキスト(pp. 13-14)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
11) 哲学の対象(3)： 道徳の可能性 【予習】テキスト(p. 15)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
12) 歴史と人間(1)： 人間の使命 【予習】テキスト(p. 16)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
13) 歴史と人間(2)： 精神の自由 【予習】テキスト(pp. 17-18)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
14) 世界と人間： 永遠平和の可能性 【予習】テキスト(p. 19)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
15) 総括： 講義全体のまとめ 【予習】テキスト(p. 20)精読(120分)【復習】テキスト再読(60分)	テキスト音読 質疑応答
授業外学習	
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読(予習)・再読(復習)する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： カント『啓蒙とは何か 他四篇』(岩波文庫)、岩波書店、1974年(改訳)	人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック

テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。

備考

期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	倫理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	鈴木 隆泰	関連する資格		

授業概要

倫理学は、道徳的行為や性格の「正しさ」や「善さ」の根拠を、できるだけ合理的かつ哲学的に問う学問である。本授業では著名な哲学者・宗教家の思想を取り上げ、倫理学の基本的な考え方を紹介すると同時に、現代の応用倫理学も考察する。

到達目標

ナンバリング(A1212)
インドを源流とし、広くアジア地域に伝播した仏教を題材に、「正しさ」や「善さ」の根拠を理解できるようになる。

成績評価方法

- ・知識：70%
- ・態度：10%
- ・技能：20%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							90
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ウパニシャッド哲学（業・輪廻・解脱）を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
2) ガウタマ・シッダールタの誕生と「四門出遊」を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
3) 釈尊の成覚と 諸行無常 を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
4) 「四法印」と中道を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
5) 釈尊の施した様々な「治療薬」を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
6) 釈尊の入滅と大乘仏教興起を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
7) 『般若経』『維摩経』の思想を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
8) 『法華経』の思想を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
9) 『法華経』『涅槃経』の思想を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
10) 日本古来の思想を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
11) 最澄・空海の思想を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
12) 法然・親鸞の思想を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
13) 禅宗（栄西・道元）の思想を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
14) 日蓮の思想を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
15) 仏教を用いた応用倫理学を学ぶ。 【復習】ノートを整理する。（60分）	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
使用しない。	

課題に対するフィードバック

備考

科目名	文化人類学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	安溪 遊地	関連する資格		

授業概要

異文化を生きる人たちの間で長期滞在して、自分にとっての「当たり前」がまったく「変なもの」扱いされるという、文化人類学の長期フィールドワークをアクティブラーニングで追体験する。それを通して、すべての異文化が対等な存在価値をもつのだという「文化相対論」を体得する。さまざまな具体例を通して、異文化に接するモラルと、世界を「ヘイト（憎しみ）」から解放しうる「実践的寛容」をしっかりと身につける。日本最南端の島々・アフリカ・スペイン・山口でのフィールドワーク（実務経験）に基づいて、世界に生きる同時代人たちの暮らしを五感で感じる授業をおこなう。

到達目標

ナンバリング(A1213)

1．異文化こそが自分を映す鏡であるという、文化人類学の基本的なものの見方を身に付ける。2．自文化へのこだわりを離れ「みんな違っている」ことを基礎としたより高い視点に立つ心構えをもつ。3．自分と異なるものの存在を認めない不寛容に対して、どのように対処すべきかという問いに、日常生活の中で具体的に答えられる力を身に付ける。

成績評価方法

授業中のグループディスカッションを踏まえた発言や、質問用紙への記入の内容等の授業への参加の程度を平常点とし、最終レポートの内容によって、成績を評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0.6
小テスト、授業内レポート							0.2
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度							0.2
プレゼンテーション							0
グループワーク							0
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ヒトの心・サル的心 文化人類学と自然人類学 予習（10分?30分）「不平等な扱いをされるとサルでも怒るか？」 復習（60分?80分）「民族学と民俗学の違いは？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
2) フィールドワークの泣き笑い 文化人類学の方法 予習（10分?30分）「身に覚えのないことで地元の人に非難されたら？」 復習（60分?80分）「フィールドでの濃い人間関係の問題点は？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
3) 調査されるという迷惑 宮本常一先生と調査地被害 予習（10分?30分）「周防大島出身の宮本常一先生を知っていますか？」 復習（60分?80分）「『忘れられた日本人』から1つの章を読んでみよう」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
4) すべてのものにカミが宿っている アニミズムの世界 予習（10分?30分）「人間以外の生き物に声をかけることがありますか？」 復習（60分?80分）「『トイレの神様』の歌ができたいきさつを調べてみよう」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
5) 日本が単一民族国家ではない証拠 アイヌ民族との出会い 予習（10分?30分）「1990年の北海道庁のアンケートの結果アイヌ民族は何人？」 復習（60分?80分）「日本では先住民族、台湾では原住民族というのはなぜ？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
6) 「自分と違う人たちは苦手？ DNAの旅とフリーハグ 予習（10分?30分）「人間とチンパンジーのDNAは何パーセントくらい共通？」 復習（60分?80分）「遺伝子組換え作物・ゲノム編集食品の実態について調べよう」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
7) はじめての海外旅行 コンゴ民主共和国の森の村で 予習（10分?30分）「アフリカで村長から『養子になれ』と言われたら？」 復習（60分?80分）「アフリカ大陸の面積は日本の何倍？ 使われる言語はいくつ？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
8) 生物の多様性と文化の多様性を生かす コンゴの民衆の智慧 予習（10分?30分）「塩と砂糖だけを買う森の村で作れる料理の数は何種類？」 復習（60分?80分）「生物多様性と生物文化多様性の違いは？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
9) お金が通用しない暮らし 贈り物・物々交換・地域通貨・仮想通貨 予習（10分?30分）「突然お札が通用しなくなったら暮らしはどうなる？」 復習（60分?80分）「歴史上のハイパーインフレや日本の新円切り換えを調べよう」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
10) 女性として生きるのがつらい国 コンゴ民主での性暴力など 予習（10分?30分）「スマホに不可欠のタンタル鉱石とコンゴ内戦のつながりは？」 復習（60分?80分）「内戦に火を注ぐスマホを手放す？ 別の方法がある？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
11) 今を生きる指針としての神話 コンゴの森の人びとの語りから 予習（10分?30分）「子どものころから聞いた神話の中で印象に残るものは？」 復習（60分?80分）「ファンタジーと神話はどこが同じでどこが違う？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
12) 民衆の記憶力 昔むかしの漂流民の伝承を与那国島で聞く 予習（10分?30分）「言い伝えは、何年前くらいまでさかのぼれるものでしょう？」 復習（60分?80分）「ユネスコの『危機言語』に日本の8言語が指定。それは何？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
13) 生ハムとワインの国 おいしい食べ物が異文化攻撃の武器にもなる 予習（10分?30分）「サビエルと山口とのかかわりを知っていますか？」 復習（60分?80分）「ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の食べ物の違いは？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
14) 武器をもって闘ったお坊さんたち 幕末長州の真宗僧の活躍 予習（10分?30分）「幕府軍が長州を包囲した四境戦争はいつ起こったか？」 復習（60分?80分）「明治ははじめの廃仏毀釈はなぜ起こり、そして止まったのか？」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
15) みんなちがってみんな「？」 たくさんの思いこみからの解放 予習（10分?30分）「あなたなら上記の『？』にどんな言葉をいれますか？」 復習（60分?80分）「毎回の授業を踏まえて最終レポートのテーマを考えよう」	左の「予習」の欄に示した問いへの答えを、隣り合った人と話し合い、シェアする。
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト、宮本常一・安溪遊地、2020『調査される迷惑を越えて』（みずのわ出版） 教材、宮本常一、1984『忘れられた日本人』（岩波文庫） 担当教員のブログ http://ankei.jp	

課題に対するフィードバック

予習で示した課題のグループディスカッションの結果を踏まえて、いくつかのグループには口頭発表をしていただくとともに、毎回、質問紙の形で提出してもらいますので、その質問には、次の回でできるだけ答えるようにしていきます。

備考

科目名	日本語表現法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	武市 眞弘	関連する資格		

授業概要

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場が多様化し、ことばはますます重要になってきている。そこで、本授業では一般社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目的とする。口語と文章語など、語彙の感覚を身につけるとともに、上手な文の組み立て方を学習する。また、手紙やささまざまな文章の形式を学び、実践する。

到達目標

ナンバリング(A1501)

1. 単位としての段落、段落の並べ方、文章構成の規準など、文章の書き方の基本を習得する。
2. 述部の主語、修飾語の受け手、句読点、括弧等の記号など、文の書き方の基本を習得する。
3. 文体（常体と敬体）、待遇表現（日常語・俗語と敬語）など、場面に応じた表現法の修得。
4. 公用の文書（礼状・依頼状などの手紙、社内・社外宛の文書、レポート等）の型式を学ぶ。
5. 一般社会における社会常識としてのコミュニケーション能力、礼儀作法を会得・実践する。

成績評価方法

授業・宿題等における意欲・態度等の評価に定期試験・小テストの得点を加算する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 日本語文章で多用する漢語・漢字についての概説 【予習】教科書7-12頁を読んでおく（40分） 【復習】配布した資料を読み返す（20分）	
2) 第1章「書き方の決まり事」7-12頁 【予習】教科書13-16頁を読んでおく（30分） 【復習】教科書の「課題2」を実行（30分）	小テスト1（65頁の1）
3) 第2章「悪文とは？の」13-15頁 【予習】教科書15-16頁「練習問題」（30分） 【復習】教科書13頁「課題」を実行（30分）	小テスト2（65頁の2）
4) 第2章「悪文とは？の」15-16頁 【予習】教科書17-19頁を読んでおく（30分） 【復習】教科書の16頁までを読み返す（30分）	小テスト3（66頁の3）
5) 第3章「文章作成法 の」17-19頁 【予習】教科書20-24頁を読んでおく（30分） 【復習】17頁「課題」のAをノートに記す（30分）	小テスト4（66頁の4）
6) 第3章「文章作成法 の」21-24頁 【予習】教科書25-26頁を熟読する（40分） 【復習】24頁「参考」を再読する（20分）	小テスト5（67頁の1）
7) 第4章「文章作成法 」の（1）25-26頁 【予習】教科書27頁を熟読する（30分） 【復習】25頁の「課題」2を書く（30分）	小テスト6（67頁の2）
8) 第4章「文章作成法 」の（2）27-28頁 【予習】29-32頁を読み「課題」を作成（30分） 【復習】教科書27頁までを総復習する（30分）	小テスト7（68頁の3）
9) 第5章「presentation」29-32頁 【予習】33-35頁を読み「課題」を行う（40分） 【復習】図書館で娘・フロイトの著作を調べる（30分）	小テスト8（68頁の4）
10) 第6章「敬語の種類と用法」33-35頁 【予習】35-38頁「敬語使用上の注意点」を読む（30分） 【復習】34-35頁の「敬語の種類」を記憶する（30分）	小テスト9（69頁の1）
11) 第6章「敬語の誤用」を正す問題例35-38頁 【予習】39-46頁「手紙」の書き方を読む（40分） 【復習】37-38頁の四つの表を把握する（30分）	小テスト10（69頁の2）
12) 第7章「手紙の形式」39-46頁 【予習】教科書59-63頁を読む（40分） 【復習】ワードで40-41頁の[例2]を作成（20分）	
13) 第10章「社会生活での嗜み」59-64頁、その他 【予習】教科書の47-51頁を読んでおく（30分） 【復習】スーパー等でお中元の商品名を調べる（40分）	
14) 第8章「効果的な電子メール」47-52頁 【予習】53-54頁を読み「課題1」を作成する（40分） 【復習】コンピュータ室でE-mailに慣れる（30分）	
15) 第9章「公用の文書作成」53-58頁 【復習】教科書の総復習（80分）	
授業外学習	
<p>13頁、33頁の各「課題」および15-16頁の「練習問題」は定期試験に出題する。 17頁、25頁、39頁、47頁、53頁、59頁の各「課題」は授業時間の余裕のある時を見計らって学籍番号順に演習を行うこととし、各自の予習を前提としたものである。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
庄司達也ほか『日本語表現法[改訂版]』（2014，翰林書房）980円+税	日本語表現法演習

課題に対するフィードバック

小テストの答えは学生同士で採点して教員に渡す。教員はその答えを点検・修正して翌週返却する。
宿題は次回の授業時間内に解答を示して質問に答え、提出したものを点検し、翌週返却する。

備考

科目名	日本語表現法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	武市 眞弘	関連する資格		

授業概要

論説文の力をつけることをめざす。文の要約と推敲の練習をする。文章力を身につけ、大学生活における学習に必要なレポート作成の要領をつかむことを目的とする。(キーワード:文章語,文章構成)

到達目標

ナンバリング(A1502)

- 1.文章語,特に学術用語・専門用語としての漢語および漢字についての知見が修得できる。
- 2.事実を記す文と意見表明の文との違いについての理解が深まる。
- 3.文における文節相互の承節関係を正しく把握できるようになる。
- 4.文章構成における段落の役割,および段落の配列・展開の仕方についての理解が深まる。
- 5.レポート・論文を作成するうえで必要とされる文章構成法についての知識・技術が修得できる。

成績評価方法

宿題や授業・演習等における意欲・態度等の評価点に期末試験・小テストの得点を加算。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) レポートの要件と参考例（p9-21），事実/意見の文（p25-48） 【予習】教科書p49-71を読んでおく（40分） 【復習】p43-45の「問題2.1-3」の宿題を解いておく（30分）	
2) 宿題の解答確認。レポート作成の手順（p49-71） 【予習】教科書p72-79，p80-97，p101-7を読んでおく（40分） 【復習】p9-71の漢字を確認しておく（30分）*次回テストする。	
3) 材料集め，図書館の利用p72-100，レポートの分量p101-107 【予習】教科書p108-121を読んでおく（40分） 【復習】この日までに学習した教科書を開いて読み返す（20分）	*漢字テスト1
4) レポートの構成（標準的な構成など），構成案の作り方 【予習】教科書（4.1） p131-9，（4.2） p140-153の理解（40分） 【復習】漢字テストの解答を見直す。誤りがあれば正す（20分）	
5) レポートの文章（4.1），および叙述の順序（4.2） 【予習】教科書p154-165，（「問題4.2」宿題）の学習（50分） 【復習】p72-153の漢字の確認（30分）*次回テストする。	
6) 事実/意見・感想の文との書き分け。宿題の確認（p154-165） 【予習】教科書p166-179（「問題4.3」宿題）の学習（40分） 【復習】この日までに学習した教科書を読み返す（20分）	*漢字テスト2
7) レポートの文章の書き方。宿題の確認（p166-179） 【予習】教科書p180-192を読んでおく（40分） 【復習】漢字テストの解答を確認する。その他（20分）	
8) 文章のまとめ方，段落・パラグラフについて（p180-192） 【予習】教科書p193-206を読んでおく（40分） 【復習】この日までに学習した教科書を読み返す（20分）	
9) 難読文の修正1：各文節の承接関係の調整法（p193-206） 【予習】教科書p206-215（「問題4.5」宿題）の学習（50分） 【復習】この日までに修得した学習内容を確認する（20分）	
10) 難読文の修正2：ねじれた文の直し方。宿題の確認（p206-215） 【予習】教科書p216-224を読んでおく（40分） 【復習】前回の学習事項と合わせて教科書を読み返す（30分）	
11) 受動態と能動態，辞書等について（p216-224） 【予習】教科書p225-234を読んでおく（30分） 【復習】教科書p217の受動態を能動態に書き換える（30分）	
12) レポートの文章の評価，執筆メモの心得（p225-234） 【予習】教科書p234-249を読んでおく（30分） 【復習】p226の図4.6で自分の望む評価多辺形を作れ（30分）	
13) 区切りの記号，出典の示し方，校正，文献，索引（p234-249） 【予習・復習】下の教科書の文章問題を解答する。*次回テスト p161-5，p194-7，p199，p205-9（70分）	
14) 文・文章の復習（p161-209），教材の補講 【予習】次回の授業に向けて準備する（10分） 【復習】教材全般（70分）	*文章テスト
15) 演習・学習内容の総確認・復習，意見交換，その他 【復習】期末テストに備えて（80分）	
授業外学習	
予習・復習は，集中度等で異なるが目安の時間を目標に実行するものとする。宿題は教科書の【問題2.1-3】，【4.2】，【4.3】，p206-215（【4.5】を含む）。テストは漢字p9-71，漢字p72-153，文章p161-209。演習は期間中に一人最低3回は廻る予定である。質問も意見提言も自由で，議論する時間も用意されているので全員が十分な準備を整えて臨むよう，教科書主体の授業外学習に努めてほしい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
木下是雄『レポートの組み立て方』（ちくま学芸文庫，1994） 本体価格780円+税	日本語表現法演習

課題に対するフィードバック

漢字テスト・文章テストは終了後学生同士で、宿題は翌週の授業で各自点検評価しあう。演習は予定のノルマが終了後ただちに意見・質問・疑問を積極的に出しあい、全員で理解・納得がゆくまで議論しあうものとする。

備考

科目名	表現アートセラピー演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	前期			
担当者名	酒木 保		関連する資格				
授業概要 表現アートセラピーとは、様々な表現（絵や粘土、コラージュ、ダンス・ムーブメント、声や音楽、ドラマ、ライティングなど）を用いる統合的芸術療法である。アート表現は、人の持つ可能性を賦活するものとして近年注目されている。この科目では、表現アートセラピーがどのような療法であり、どのような特徴を持つのかについて全体像をつかむ。テキストの実例から表現アートセラピーの実際について学び、心理的成長のプロセスを理解し、自己の心理的成長について考える。							
実務経験 臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。							
到達目標 A1503 様々な知覚機能を用いて創造的活動を闊達化し、カオスからコスモスへのプロセスを概観し、芸術の基本原則を体験する。			成績評価方法 作品の提出				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							0.5
授業態度・授業参加度							0.2
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							0.3
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 色彩に関する芸術的体験（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
2) 色彩に関する芸術的体験（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
3) 色彩に関する芸術的体験（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
4) 造形に関する芸術的体験（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
5) 造形に関する芸術的体験（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
6) 造形に関する芸術的体験（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
7) 音響に関する芸術的表現（1）リズム 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
8) 音響に関する芸術的表現（2）ピッチ 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
9) 音響に関する芸術的表現（3）メロディ 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
10) 具体的表現（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
11) 具体的表現（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
12) 具体的表現（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
13) イメージを具体化する（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
14) イメージを具体化する（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
15) イメージを具体化する（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
授業外学習	
生活世界における様々な事象について表現する練習をしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目

課題に対するフィードバック

作品に対する評価をその都度行う。

備考

科目名	表現アートセラピー演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	後期			
担当者名	酒木 保		関連する資格				
授業概要 対人援助は、人間関係のプロセスそのものと言える。相手を理解し共感するためには、まず自己理解が必要となる。この授業では、表現アートセラピーを通して自己の内面を見つめ、自己理解を深め、他者との共感的コミュニケーションを体験的に学ぶ。また芸術療法の基礎、パーソンセンタード表現アートセラピーの理論と実践を学ぶ。演習・実習を通して、いかに自由で安全な場を提供するかについて学んでいく。医療（精神科、高齢者）や教育における適用例も概説する。							
実務経験 臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。							
到達目標 A1504 様々な治療技法が使いこなせるようになる。			成績評価方法 作品の提出				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							0.5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							0.2
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							0.3
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 交互彩色法（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
2) 交互彩色法（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
3) 交互彩色法（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
4) 黄黒交互彩色法（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
5) 黄黒交互彩色法（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
6) 黄黒交互彩色法（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
7) スクウィグルと物語（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
8) スクウィグルと物語（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
9) スクウィグルと物語（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
10) スクウィグルと4コマ漫画（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
11) スクウィグルと4コマ漫画（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
12) スクウィグルと4コマ漫画（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
13) 色彩プロットから描画と物語（1） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
14) 色彩プロットから描画と物語（2） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
15) 色彩プロットから描画と物語（3） 授業内容のふりかえり（60分）	実際に表現して作品を提出する
授業外学習	
生活世界の中から芸実に関わるものを見出すこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目

課題に対するフィードバック

作品に対する評価をその都度行う。

備考

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	角光 通子	関連する資格		

授業概要

大学に入学をして、あなたは何をしたいのか？ 4年間をどのように過ごすのか？ 4年後に卒業をし、社会に入る、又は大学院進学に向けての進路選択活動をするため、これからの自分の大学生活をデザインすることを目的とする。グループワーク・グループ演習などを通して、他社とのコミュニケーションをはかり、同時に、自分の想い、他者への想いを深めていく。

到達目標

ナンバリング(A1902)

- 社会人として必要な能力を向上させる
- 社会で働くことの意義を考えることができる
- 広い範囲から職業選択、進路選択ができる

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加、小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○	○	○		20
宿題、授業外レポート							60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション ガイダンス 【予習】 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
2)	コミュニケーションスキル 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
3)	- P R O G - 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
4)	コミュニケーションスキル 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
5)	コミュニケーションスキル 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
6)	ワールドカフェ - クラスのみんなと知り合い、自分の意志を伝える - 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
7)	大学生活の過ごし方 ~ 今後の大学生活の過ごし方を考える ~ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
8)	- P R O G テストの解説 - 結果の解説 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
9)	Web情報・書籍の活用 Webや書籍の活用方法について考える 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
10)	あなたの未来は？ ~ お金の意味を考える ~ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
11)	キャリアとは？ ~ キャリアについて考える ~ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
12)	社会人基礎力とは？ ~ 社会人基礎力の概要 ~ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
13)	未来の自分を考える ~ 将来の自分に視点を向け、考える ~ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
14)	キャリア理論 ~ キャリア理論の概要 ~ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
15)	総括 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
授業外学習		
毎授業後、作成するレポートを通して、自身の課題を明確にし、次回の授業への関わりに活かす。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。		キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリアデザイン 、インターンシップ、インターンシップ、インターンシ ップ

課題に対するフィードバック

小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。

備考

科目名	心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	梶本 知子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、心理学の歴史・成り立ちと、人の心の基本的な仕組み及び働きについて学び、科学としての心理学を正確に理解することを目的とする。心理学の基礎を形成するための科目で、「心理学概論」と強く関連している。

到達目標

A1301ab

心理学とはどのような学問であるかを説明できる。
 授業で取り上げた専門用語の定義を述べることができる。
 授業で取り上げた心理学的現象について、心理学の専門用語や理論を用いて説明することができる。
 心理学的視点で、ものごとをとらえることができる。

成績評価方法

定期試験 55%、授業内ミニレポート（ミニツツペーパー） 15%、宿題（小課題） 30%で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							55
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学とはなにか： 行動と心，心理学とはなにか，心理学の領域と研究方法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2) 発達心理学： 遺伝と環境，レディネスと成熟優位説，初期学習と学習発達説 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3) 発達心理学： 成長と発達，発達の量的変化と質的变化，発達段階説 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4) 学習心理学： 学習とは，古典的条件づけ，オペラント条件づけ 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5) 学習心理学： 観察学習，洞察学習 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6) 生理・神経心理学： 生理学的心理学と心理（精神）生理学，神経系の構造と機能，ホメオスタシス 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7) 感覚・知覚心理学： 感覚と知覚，感覚の特性，知覚の特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8) 認知心理学： 認知とは，選択的注意，記憶のメカニズム，忘却のメカニズム 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（各々60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9) 認知心理学： 言語と概念，ことばの獲得とコミュニケーション，問題解決，推論の方法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
10) 動機づけの心理学： 動機・誘因と動機づけ，動機と動機づけの種類，マズローの欲求階層説 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
11) 感情心理学：感情・情動・気分，感情の古典的理論，感情の分化と機能 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
12) パーソナリティ心理学： 気質・性格・パーソナリティ，性格のとらえ方 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
13) パーソナリティ心理学： 知能，愛着の発達とパーソナリティ 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
14) 社会心理学： 社会心理学とは，社会的認知，ソーシャル・サポート，社会的影響 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
15) 心理学の歴史と展開： 心理学のはじまり，科学としての心理学の展開，心理学の現在とこれから 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
授業外学習	
毎回出される小課題（宿題）を行い，その回の授業内容を復習すること。次回の授業内容に示された専門用語について，心理学事典などで事前に調べておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。参考文献は授業内で紹介する。	心理学概論 心理学の各専門科目

課題に対するフィードバック

- ・ミニツツペーパー（授業内ミニレポート）に書かれた質問について，次回の授業始めに口頭で解答し説明する。
- ・小課題は，次回の授業で答え合わせを行い，次々回の授業で各自に返却する。
- ・期末試験の結果については，平均点と標準偏差を掲示する。

備考

科目名	心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	梶本 知子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

心理学は「基礎心理学」と「応用心理学」の2領域に大別される。基礎心理学の領域では、こころのメカニズムの法則や理論を探求する。それらを実際の問題解決に役立てたり、広く社会への応用を図るのが応用心理学である。本講義では、教育、臨床、医療、福祉、司法などの領域で、基礎心理学がどのように応用されているかを理解することを目的とする。臨床心理士として携わった精神科病院臨床、およびスクールカウンセラーの活動経験をもとに、臨床心理学と医療心理学について授業を行う。

到達目標

A1302ab

授業で取り上げた概念と専門用語の定義を述べることができる。
 授業で紹介した理論やモデルを説明できる。
 基礎心理学が教育、産業、臨床、医療、福祉、司法の各領域でどのように応用され、役立っているのかについて説明できる。
 基礎心理学の知識や理論を用いて、自分自身の問題解決を図ることができる。

成績評価方法

定期試験 55%、授業内ミニレポート（ミニツツペーパー） 15%、宿題（小課題） 30%で評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							55	
小テスト、授業内レポート							15	
宿題、授業外レポート							30	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	基礎心理学と応用心理学：心理学の主な領域と諸々科学，心理学における基礎と実践の双方向性と協働 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2)	教育心理学：教育心理学の領域，学習意欲と学習指導，教育評価，学級集団の理解，学校教育相談 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3)	学校心理学：学校組織の概要，学校コンサルテーションとチーム学校，危機介入と支援，学校生活の質の向上 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4)	家族心理学：家族とは，家族システム論，家族の発達，家族への支援 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5)	健康心理学：健康心理学とは，ストレスと健康，健康行動変容モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6)	産業・組織心理学：ホーソン研究，キャリア形成と支援，職場におけるメンタルヘルス 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7)	異常心理学：異常心理学と臨床心理学，精神病理の心的メカニズムを説明するモデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8)	臨床心理学：臨床心理学と心理臨床，臨床心理学における3つの活動と基本モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9)	臨床心理学：架空事例から実践活動を理解する 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
10)	医療心理学：チーム医療，予防的アプローチ，患者の心理と心理的支援 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
11)	福祉・障がい心理学：児童福祉・障害者福祉および高齢者福祉と心理的支援 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
12)	司法・犯罪心理学：犯罪に関する理論，虚偽検出，目撃証言 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
13)	司法・犯罪心理学：司法システム，成人犯罪者の処遇，非行少年の処遇と矯正教育 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
14)	文化心理学：文化と発達，文化的自己観と対人関係の取り方 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
15)	まとめ：心理学は社会や暮らしにどのように役に立つのか 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
授業外学習		
毎回出される小課題（宿題）を行い，その回の授業内容を復習すること。次回の授業内容に示された専門用語について，心理学事典などで事前に調べておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。参考文献は授業内で紹介する。		心理学概論 心理学の各専門科目

課題に対するフィードバック

- ・ミニツツペーパー（授業内ミニレポート）に書かれた質問について，次回の授業始めに口頭で解答し説明する。
- ・小課題は，次回の授業で答え合わせを行い，次々回の授業で各自に返却する。
- ・期末試験の結果については，平均点と標準偏差を掲示する。

備考

科目名	ビジネス心理学概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	海野 博、森本 裕子、大石 英史、 高山 智行		関連する資格	認定心理士			
授業概要 ビジネス心理学は、企業を中心とする様々な組織で働いている人々の行動や経営活動について、心理学の考え方を応用、活用して問題解決を図っていこうとする学問であり、企業で働く人々の誰にでも役立つ実践的な心理学といえる。この講義は学部基礎科目であり、人間行動にかかわる心理学の知識と技術をいかし、人と人、人と集団、集団と集団の相互作用のなかで経営の諸資源を有効に活用して行う活動（ビジネス）において、基礎的な知識を充分獲得しビジネスの現場で有効な活動を展開できる能力を習得させることを目的とする。4名の教員がオムニバス方式で行い、各教員がそれぞれの専門の立場から講義を行う。学生の興味を引き起こし2年次以降の専門科目に導入する1年次の重要科目の一つである。							
到達目標 ナンバリング(A1303b) 心理学の知識と技術をいかし、ビジネスの現場で有効な活動を展開できる能力を習得することができる。 (1) 2 - 5回 経営学と心理学の関係を学び、ビジネスに生かすことができる。(2) 6 - 9回 人が集団内でどのようにふるまうのかを理解できる。(3) 10 - 12回 職場のメンタルヘルスを維持・向上させるための考え方と方法を習得する。(4) 13 - 15回 ビジネス現場においてキャリア発達の視点を取り入れた人材マネジメントを展開するための基本的な知識を習得する。			成績評価方法 定期試験及び(1) 2 - 5回 宿題と授業外レポート(2) 6 - 9回 授業時間内課題 (3) 10 - 12回 授業時間内課題及び授業外レポート(4) 13 - 15回 授業時間内課題、授業時間外学習課題、レポートにより、総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ビジネス心理学とは何か（授業の概要）(海野 博, 森本 祐子) 【予習】授業計画を把握し参考書を読みビジネス心理学のおおよそを理解しておく（90分）【復習】復習課題を作成する（90分）	
2)	企業経営、経営管理と心理学(海野 博) 【予習】『やさしく学べる経営学』第1章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
3)	人的資源管理と心理学(海野 博) 【予習】『やさしく学べる経営学』第5章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
4)	流通、販売、マーケティングと心理学(海野 博) 【予習】『やさしく学べる経営学』第7、8章を読んでおく（90分） 【復習】復習と次回のプレゼンテーションの準備をする（90分）	
5)	リスクマネジメント、企業倫理と心理学(海野 博) 【予習】『やさしく学べる経営学』第10章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	プレゼンテーション
6)	集団・組織とは何か（集団の特質）(森本 裕子) 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
7)	集団・組織における人間関係(森本 裕子) 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
8)	リーダーシップ(森本 裕子) 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
9)	組織コミットメント、生産性と組織風土（支持的風土と防衛的風土）(森本 裕子) 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
10)	現代若者の職業観とメンタルヘルス(大石 英史) 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
11)	ビジネスの現場で求められるコミュニケーション能力とメンタルヘルス(大石 英史) 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
12)	ストレスマネジメントとしてのセルフケア(大石 英史) 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	演習
13)	人材育成 自己理解（認識）とキャリア形成(高山 智行) 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	グループワーク
14)	人材育成 職場定着とキャリア発達(高山 智行) 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	グループワーク
15)	人材育成 まとめ、企業組織において心理学的知見がもたらすもの(高山 智行) 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	
授業外学習		
講義で学ぶことの予習と復習、プレゼンテーションの前には宿題を課す。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：授業中に資料を配布する。 参考書：海野博他著『やさしく学べる経営学』（創成社）、檀本博明著『ビジネス心理学』『仕事で使える心理学』（日経文庫）、二村英幸著『個と組織を生かすキャリア発達の心理学』（金子書房）		心理学概論、経営学、キャリアデザイン ~

課題に対するフィードバック

(全員/第1回)作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。(海野 博/第2~5回)作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。(森本 裕子/第6回~9回)復習課題は翌週の授業で回収の上、解説する。(大石 英史/第10~12回)復習課題は、翌週の授業で解説する。(高山 智行/第13~15回)作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。第15回の復習課題については、授業時間外に解説を配布あるいは掲示する。

備考

科目名	福祉心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	宮崎 博子、木元 卓也	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

本授業では、福祉現場において生じる問題及びその背景、福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援、虐待についての基本的知識について学ぶ。

到達目標

ナンバリング(A1304a)

受講生が福祉心理学の講義を聞いて、自分と共に自分と関わる人たちの幸せ実現を一步でも進めて頂いたら幸いです

成績評価方法

試験及び授業内レポートを総合的に判断する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 福祉心理学の授業の進め方（オリエンテーション）：福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の歴史と動向（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】社会福祉の歴史をまとめる（90分）	授業感想シート
2) 福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の理念（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】福祉の理念をまとめる（90分）	小レポート
3) 福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の制度・法律（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】児童福祉関連の法律を調べる（90分）	小レポート
4) 福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の職種（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】福祉の施設についてまとめる（90分）	小レポート
5) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉現場における活動の基本（宮崎）【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】エコロジカルモデルを調べる（90分）	小レポート
6) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉分野の活動における倫理（宮崎）【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】自己決定と権利擁護をまとめる（90分）	小レポート
7) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉における心理アセスメント（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】認知症について調べる（90分）	小レポート
8) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉における心理学的支援（木元）【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】社会生活技能訓練についてまとめる（90分）	小レポート
9) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～児童福祉分野の活動（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】児童福祉施設を調べる（90分）	小レポート
10) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～家庭福祉分野の活動（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】DVについてまとめる（90分）	小レポート
11) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～高齢者福祉分野の活動（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】高齢者福祉施設を調べる（90分）	小レポート
12) 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～障害者福祉分野の活動（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】障害者福祉施設を調べる（90分）	小レポート
13) 虐待及び認知症についての基本的知識～虐待（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分） 【復習】虐待への対応についてまとめる（90分）	小レポート
14) 虐待及び認知症についての基本的知識～認知症（宮崎） 【予習】認知症について（90分） 【復習】認知症への対応についてまとめる（90分）	小レポート
15) まとめ（宮崎）	
授業外学習	
積極的な予習・復習による学習が望まれる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：第17巻 福祉心理学（公認心理師の基礎と実践）中島健一、2018年 『福祉心理学入門 幸せを育てる心理学』（平野信喜・坂原明著 田研出版 2009年）	

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週にコメントをつけて返す。

備考